

全国の循環器科または心臓外科を標榜する病院に通院中の患者さま・ご家族さまへ

国立循環器病研究センターでは日本循環器学会が実施する循環器診療の実態調査のデータベースを利用して「循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究」を行っています。

【対象となる方】日本循環器学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設において、2012年4月1日～2020年3月31日の間に、心臓サルコイドーシスの診断で入院または外来受診された方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースによる心臓サルコイドーシスの診療実態調査と二次調査に基づく診断・治療プロトコルの策定に関する研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心臓血管内科 部長 泉 知里

【研究の意義・目的】

諸外国に比べて、日本では心臓サルコイドーシスが多いことが知られています。本研究では、循環器疾患診療実態調査の DPC データ（JROAD-DPC）の解析及び全国レベルの後向き登録研究を行うことにより、日本における心臓サルコイドーシスの診断・治療・予後における現状を把握し、心臓限局性サルコイドーシスの診断プロトコル、再燃例や高齢者、FDG-PET 陰性例などに対する治療プロトコルを策定し、心臓サルコイドーシス診療の均てん化の実現と予後の改善を目的としています。

【利用する診療情報】

施設名、入院年月日、性別、退院年月日、退院先、退院時転帰、入院から 24 時間以内の死亡の有無、身長、体重、要介護度、低栄養の有無、摂食・嚥下機能障害の有無、主傷病名、入院契機傷病名、入院時併存症名、続発症名、手術名、手術日、持参薬使用状況、入院時 ADL スコア、入院中の日常生活自立度（ADL スコア/FIM/mRS）、自覚症状、心不全重症度分類（NYHA）、心不全発症時期、収縮期血圧、心拍数、心調律、入院時死亡、入院時死亡_7 日以内、入院時死亡_30 日以内、入院後脳出血・脳梗塞・心筋梗塞、医療費、年齢、年齢区分、併存疾患の有無（心筋梗塞、心不全、末梢血管疾患、脳血管疾患、認知症、慢性肺疾患、リウマチ、消化性潰瘍、肝障害、糖尿病、片麻痺、腎障害、がん、HIV）、院内処方各種（入院前・退院後）、入院時併存症（高血圧、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、脳梗塞、脳内出血）、入院時心機能、外来時心機能、デバイス治療の有無（ペースメーカー、ICD、CRT-P、CRT-D）

【研究期間】 研究許可日より 2025 年 12 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

研究で利用する情報は、匿名化されており、原則として個人を特定できない情報です。研究情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 部長 泉 知里
電話 06-6170-1070（代表）